

# 奨励賞

## 藤沢市ビオトープ 管理者養成講座(上級編) 運営における技術的支援

株式会社グラック 八色宏昌・北川明介・高橋 彩・並木 崇・枝吉茂種  
アゴラ造園株式会社 石井匡志・香取 太  
日本大学生物資源科学部 島田正文・長谷川功・  
岩野秀俊・葉山嘉一・大澤啓志・間野伸宏

藤沢市では藤沢市ビオトープネットワーク基本計画を2007年に公表し、これを受けてビオトープの保全・再生・創出等に関わる人材養成を目的に藤沢市ビオトープ管理者養成講座を開催した。2009年度に初級講座、2010年度に中級講座が行われており、本講座はそれに続く上級講座である。特色は、①市民でも実践可能なビオトープの保全・再生・創出手法を開発して講座において実施したこと、②専門の実務者が実務実習を担当し、実践と同じ流れで講座を実施したこと、③講座の受講後に市民が主体となり管理等ができるようにワークショップ方式を導入したことである。これにより市民主体のビオトープの保全・再生・創出活動を支援した。

### 作品評

この作品は、ビオトープ管理者養成講座の運営に関して技術的支援を行った業務であり、2011年10月から2012年3月までの6カ月間に6回に及ぶ講座を開催した。

講座は過去2年間に初級、中級と段階的に開催されており、選考対象となる講座は、上級編講座としてビオトープづくりの実践を中心としたプログラム内容となっている。コンサル、施工業者、大学研究者のそれぞれが専門の立場から技術指導を行っており、多様な実務者による講座が企画・運営された。また、毎回の講座終了時には意識調査が実施され、その要望等を次回以降に反映するなどの工夫を通じて、より現実的な整備体験が提供された。その結果、受講者の満足度は高く、クライアントからも高い評価を得ている。今後、同様の取り組みは増加するものと思われ、市民を主体としたビオトープ整備活動促進への貢献が大いに期待される作品として評価された。

惜しむらくは応募作品資料にコラボレート企業や応募者等の役割に関する記述が少なく、その点においてコンサルテーションの内容などが十分に伝わらず、奨励賞に留まった。

### 作品概要

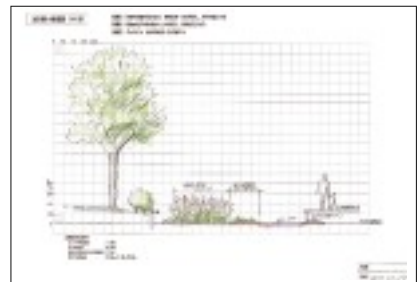
作品名：藤沢市ビオトープ管理者養成講座(上級編) 運営における技術的支援  
業務対象：長久保公園の菖蒲池とハーブ見本園の一部(辻堂大平台2丁目)  
面積規模：3.4ha(開園区域)  
事業主体：藤沢市まちづくり推進部まちづくりみどり推進課  
実施体制：講座プログラムの内容や実施方法、担当講師ならびに講座の運営等を中心に日本大学生物資源科学部生物環境科学研究センターが共催・支援し、株式会社グラック及びアゴラ造園株式会社が講座においてビオトープの調査・計画・測量・設計・施工実習および運営を担当した。  
協力：日本大学生物資源科学部生物環境科学研究センター(講座共催(全体))、公益財団法人神奈川県公園協会(講座共催(2011年度))  
業務目的：ワークショップ方式による計画、設計、整備などの実習を通して講習生の技術向上、講座受講後の管理等の市民参加の促進  
業務期間：2011年6月～2012年3月(うち応募者が主に担当した期間は2011年10月～2012年3月(9月までは日本大学生物資源科学部生物環境科学研究センターならびに公益財団法人神奈川県公園協会が主体となり神奈川県立境川遊水地公園で実施))



簡易な測量手法を開発して実習を実施(菖蒲池)



断面図の雛形をもとに受講生が作図(ハーブ見本園)



受講生が断面図をもとに計画を検討(菖蒲池)



ビオトープ池の造成の施工を実施(ハーブ見本園)



ビオトープ整備の竣工記念撮影(菖蒲池)



ビオトープ整備の竣工記念撮影(ハーブ見本園)